

国語に関して

平成15年度「国語に関する世論調査」の結果について

平成16年7月

文化庁では、施策の参考とするため、平成7年度から毎年「国語に関する世論調査」を実施している。平成15年度は、言葉遣いについての関心、敬語の必要性、言葉の書き表し方のほか、携帯電話や電子メールが言葉や言葉遣いに与える影響についての意識も調査した。また、例年取り上げている、慣用句等の意味の理解や使用についても調査を実施した。

報告書は独立行政法人国立印刷局から市販する。

調査目的・方法等

調査目的：	言葉遣いについての関心、敬語の必要性、言葉の書き表し方、携帯電話や電子メールが言葉や言葉遣いに与える影響についての意識等を調査し、国語施策を進める上での参考とする。		
調査対象：	全国16歳以上の男女3,000人		
調査時期：	平成16年1月16日～2月3日		
調査方法：	個別面接調査		
回収結果：	有効回収数（率）	2,206人（73.5%）	
	調査不能数（率）	794人（26.5%）	

調査結果の概要

1 言葉遣いについての関心

(数字は%)

(1) 言葉や言葉の使い方に、どの程度関心があるか<問1>

(P3)

7割以上が「関心がある」

は報告書のページ
を表す

日常の言葉遣いや話し方、文章の書き方など、言葉や言葉の使い方について、どの程度関心があるかを尋ねた。平成12年度調査と併せて結果を表にすると以下のとおり。

平成15年度調査を見ると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた「関心がある(計)」は75.9%で7割を超えている。「余り関心がない」「全く関心がない」を合わせた「関心がない(計)」は23.8%となっている。平成12年度調査と比べると、「関心がある(計)」は2.7ポイント増加し、「関心がない(計)」は2.4ポイント減少している。

(数字は%)

	関心がある(計)		関心がない(計)		分からない
	非常に関心がある	ある程度関心がある	余り関心がない	全く関心がない	
平成15年度	75.9		23.8		0.3
	19.5	56.4	20.8	3.0	
平成12年度	73.2		26.2		0.6
	15.3	57.8	22.7	3.5	

小数第2位四捨五入のため、単純合計と一致しない。

平成15年度調査の結果を性・年齢別に表にすると以下のとおり。男性の20代以下と女性の16～19歳では、ほかの年代と比べて「関心がある(計)」の割合が低くなっている。特に、男性の16～19歳では35.2%と3割台にとどまる。

(数字は%)

	非常に関心がある	ある程度関心がある	関心がある(計)	余り関心がない	全く関心がない	関心がない(計)
男性・16～19歳	5.6	29.6	35.2	51.9	13.0	64.8
20～29歳	17.0	40.2	57.1	41.1	1.8	42.9
30～39歳	14.2	61.0	75.2	20.6	4.3	24.8
40～49歳	21.8	56.5	78.2	18.8	2.9	21.8
50～59歳	22.0	59.7	81.7	15.2	3.1	18.3
60歳以上	25.2	49.0	74.2	22.7	2.2	24.9
女性・16～19歳	9.6	44.2	53.8	44.2	0.0	44.2
20～29歳	15.6	61.5	77.1	21.1	1.8	22.9
30～39歳	15.4	66.2	81.6	17.4	1.0	18.4
40～49歳	17.1	72.4	89.4	10.1	0.5	10.6
50～59歳	24.8	59.7	84.5	12.6	2.9	15.5
60歳以上	19.0	53.4	72.5	21.4	5.3	26.7

小数第2位四捨五入のため、単純合計と一致しない。

2 常用漢字以外の漢字の使用

- (1) 常用漢字以外の漢字の使用<問3>(P10)
積極的に使っていくべきが4割、余り望ましくないは3割

常用漢字以外の漢字の使用について、次の二つの考え方を示し、どちらの考えに近いかを尋ねた。結果は以下のとおり。

- A 常用漢字表にない漢字であっても、積極的に使っていくべきである
B 難しい漢字も使われるようになるので、余り望ましいことではない

Aの考えに近い …… 42.0%
Bの考えに近い …… 32.0%
どちらとも言えない …… 20.9%
分からない …… 5.2%

(2) 常用漢字以外の漢字を使う言葉の書き表し方<問4>(P12)
交ぜ書き支持は、いずれも3割以下

常用漢字以外の漢字を使う六つの言葉を取り上げ、常用漢字以外の漢字を使わないようにして漢字と仮名を交ぜて書いたもの、漢字で書いて振り仮名を付けたもの、漢字で書いたものを示し、どの書き表し方が最も良いと思うかを尋ねた。結果は以下のとおり。(「分からない」は省略。) いずれの言葉も、漢字で書いて振り仮名を付けたものの割合が40%以上となっているが、「闇夜」「玩具」については、漢字で書いたものの割合も4割を超えている。特に「玩具」では、漢字で書いたものの割合が47.3%と、三つの書き表し方の中で最も高くなっている。

(数字は%)

真実を知って <u>がくぜん</u> とした	がく然	^{がくぜん} 愕然	愕然
	21.7	64.8	11.7
月の出していない <u>やみよ</u>	やみ夜	^{やみよ} 闇夜	闇夜
	10.4	47.6	40.7
動物の <u>はくせい</u>	はく製	^{はくせい} 剥製	剥製
	26.7	54.1	18.0
経営が <u>はたん</u> する	破たん	^{はたん} 破綻	破綻
	24.7	45.5	28.7
子供の <u>がんぐ</u>	がん具	^{がんぐ} 玩具	玩具
	9.2	42.3	47.3
花模様の <u>ししゅう</u>	刺しゅう	^{ししゅう} 刺繡	刺繡
	29.1	44.2	25.6

3 敬語の必要性

(1) 敬語の必要性<問5>(P19)
 今後とも「必要だと思う」人が圧倒的

今後とも敬語は必要だと思うかを尋ねた。結果は以下のとおり。

「必要だと思う」「ある程度必要だと思う」を合わせた「必要だと思う(計)」が96.1%で、ほぼ全員の回答者が敬語の必要性を認めている。

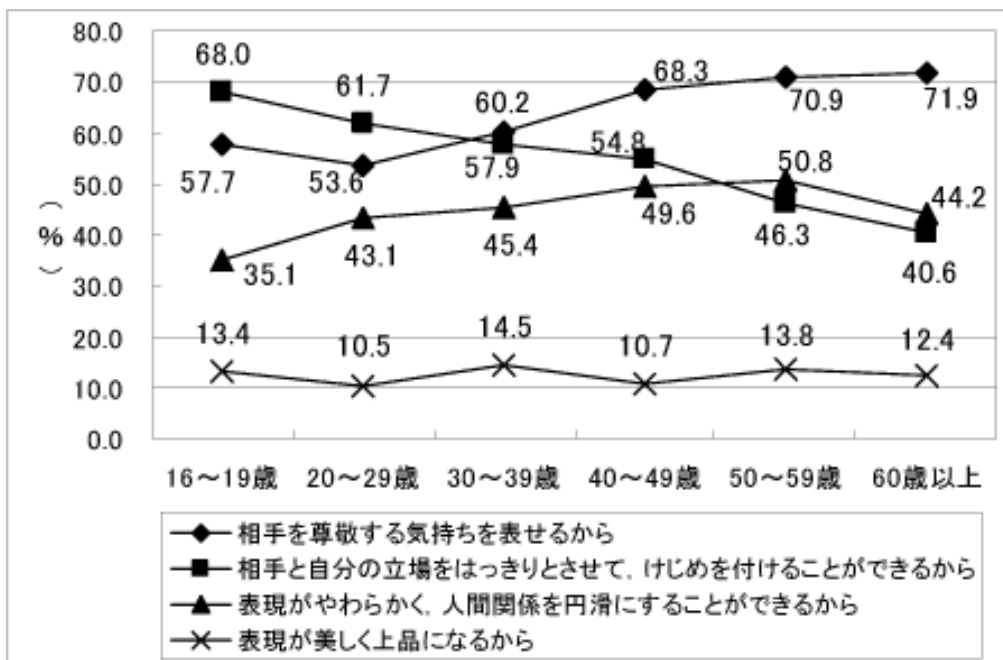
必要だと思う	67.8%	「必要だと思う(計)」
ある程度必要だと思う	28.3%	
余り必要だとは思わない	2.6%	「必要だと思わない(計)」
必要だとは思わない	0.7%	

(2) 敬語が必要だと思う理由<問5・付問1>(P19)
 20代以下では、「けじめを付けることができるから」が1位

問5で敬語が「必要だと思う」「ある程度必要だと思う」と答えた人に、その理由を尋ねた。(二つまで選択可。) 結果は以下のとおり。(「その他」「分からない」は省略。)

相手を尊敬する気持ちを表せるから	66.8%
相手と自分の立場をはっきりとさせて、 けじめを付けることができるから	50.2%
表現がやわらかく、人間関係を円滑に することができるから	46.1%
表現が美しく上品になるから	12.6%

年齢別に割合を示すと以下のとおり。「相手を尊敬する気持ちを表せるから」が、すべての年代で5割を超え、特に50代以上では7割台となっている。20代以下では、「相手と自分の立場をはっきりとさせて、けじめを付けることができるから」の割合が「相手を尊敬する気持ちを表せるから」の割合よりも高く、6割以上となっている。



4 気になる言い方

(1) 気になる言い方<問7>(P26)

8年前に比べて、ほとんどの言い方で「気になる」が増加

七つの言い方を挙げ、気になるかどうかを尋ねた。平成7年度調査と併せて結果を表にすると以下のとおり。(「分からない」は省略。)平成7年度調査と比べると、「とんでもございません」を除いて、いずれの言い方とも「気になる」の割合が増加し、「気にならない」の割合が減少している。特に「先生、こちらでお待ちしてください」「お客様が申されました」については、「気になる」の割合が10ポイント以上増加している。なお、「気になる」の割合にほとんど変化のない「とんでもございません」も「気にならない」の割合は10ポイント減少している。

(数字は%)

		気になる	気にならない	どちらとも言えない
先生、こちらでお待ちしてください	平成15年度	66.0	24.7	8.1
	平成7年度	55.6	41.0	2.4
お客様が申されました	平成15年度	54.1	33.1	11.4
	平成7年度	41.4	54.2	2.9
<u>とんでもございません</u>	平成15年度	17.8	68.3	12.8
	平成7年度	17.9	78.7	2.3
お客様がお見えになった	平成15年度	29.9	60.0	9.3
	平成7年度			
3時に御出発される予定です	平成15年度	44.0	43.0	11.8
	平成7年度	35.4	60.8	2.7
先生がおっしゃられたように	平成15年度	28.2	62.3	8.5
	平成7年度	24.5	71.9	2.5

お客様，どうぞ <u>いただ</u> いてください	平成15年度	66.8	23.8	8.3
	平成7年度	62.5	34.4	2.0

平成7年度調査にはなかった設問。

5 言葉の発音

(1) 言葉の発音<問8>(P34)

7割以上が「十匹」を「じゅっぴき」と発音

以下の10語について，二通りの発音を挙げ，ふだんどちらで発音しているかを尋ねた。結果は以下のとおり。(「どちらも同じくらいの割合で言う」「分からない」は省略。)

(数字は%)

世 論	せろん	よろん
	18.9	73.6
重 複	じゅうふく	ちょうふく
	76.1	20.0
情 緒	じょうしょ	じょうちょ
	14.9	82.2
固 執	こしつ	こしゅう
	73.7	19.5
施 策	しさく	せさく
	67.6	26.1
早 急	さっきゅう	そうきゅう
	21.2	74.5
地 熱	じねつ	ちねつ
	43.3	52.4
十 匹	じっぴき	じゅっぴき
	23.3	75.1
3 階	さんかい	さんがい
	35.7	61.2
あり得る	ありうる	ありえる
	39.8	54.5

「3階」「あり得る」について，平成9年度調査の結果と併せて表にすると，以下のとおり。(「どちらも同じくらいの割合で言う」「分からない」は省略。)

(数字は%)

	3 階		あり得る	
	さんかい	さんがい	ありうる	ありえる
平成15年度	35.7	61.2	39.8	54.5
平成9年度	26.2	71.1	35.6	58.8

10語のうち、年齢差の見られる「早急」「地熱」「十匹」「3階」「あり得る」の5語について、年齢別に調査結果を示すと以下のとおり。（「どちらも同じくらいの割合で言う」「分からない」は省略。）ふだん「十匹」を「じっぴき」と発音している人の割合は、60歳以上では38.2%と、50代以下と比べて高くなっている。また、「3階」については、「さんがい」と発音する人の割合は高年層ほど高く、一方、「さんかい」と発音する人の割合は若年層ほど高くなっている。

（数字は%）

		16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
早 急	さっきゅう	18.9	16.3	16.4	18.7	27.7	22.6
	そうきゅう	80.2	81.0	79.2	76.7	68.5	72.0
地 熱	じねつ	36.8	33.9	32.2	38.8	43.4	54.4
	ちねつ	59.4	64.7	64.6	57.2	52.9	39.4
十 匹	じっぴき	14.2	13.6	12.0	16.0	20.3	38.2
	じゅっぴき	84.0	86.0	86.0	82.9	78.1	59.9
3 階	さんかい	61.3	54.8	43.6	42.3	30.3	22.6
	さんがい	34.0	42.1	51.5	53.9	67.4	75.4
あり得る	ありうる	24.5	30.3	31.0	31.4	36.4	55.1
	ありえる	73.6	66.1	60.8	64.0	58.7	38.3

6 ふだんの言い方

（1）ふだんの言い方 することがあるかどうか<問10>（P46）
 いずれの言い方も、「することがある」が増加

八つの言い方を取り上げ、そのような言い方をすることがあるかどうかを尋ねた。平成8年度調査と併せて結果を表にすると以下のとおり。（「分からない」は省略。）

平成8年度調査と比較すると、いずれの言い方も「ある」の割合が高くなっている。特に「なにげに」については「ある」の割合が約15ポイント増加している。

（数字は%）

		あ る	な い
「あの人は走るのが <u>すごく</u> 速い」ということを、 「あの人は走るのが <u>すごい</u> 速い」と言う	平成15年度	46.3	52.9
	平成8年度	43.1	55.5
「あの人 <u>みたい</u> になりたい」ということを、 「あの人 <u>みたく</u> になりたい」と言う	平成15年度	19.9	79.6
	平成8年度	16.8	82.2
「なにげ <u>なく</u> そうした」ということを、 「 <u>なにげに</u> そうした」と言う	平成15年度	23.5	75.7
	平成8年度	8.8	90.3
「あの人は私より <u>1歳上</u> だ」ということを、 「あの人は私より <u>1コ上</u> だ」と言う	平成15年度	50.8	48.8
	平成8年度	41.7	57.4
「 <u>とても</u> きれいだ」ということを、 「 <u>チョー</u> きれいだ」と言う	平成15年度	21.4	78.2
	平成8年度	12.0	87.4

「 <u>腹が立つ</u> 」ということ、 「 <u>むかつく</u> 」と言う	平成15年度	48.1	51.3
	平成8年度	43.2	56.0
「寝る前に歯を磨きます。その時に...」ということ、 「寝る前に歯を磨くじゃないですか、その時に...」と言う	平成15年度	19.2	78.9
	平成8年度	13.1	85.1
「とても明るい」ということ、 「 <u>全然</u> 明るい」と言う	平成15年度	20.7	78.6
	平成8年度		

平成8年度調査にはなかった設問。

7 慣用句等の意味の理解

(1) 慣用句等の意味の理解<問11>(P51)

「檄(げき)を飛ばす」「姑息(こそく)」「憊然(ぶぜん)」は、7割が本来とは異なる意味で理解

六つの語句についてその意味を尋ねた。そのうち、「檄を飛ばす」「姑息」「憊然」について、全体の数値を示した。また、(ア)、(イ)、「分からない」の割合を年齢別に示した。

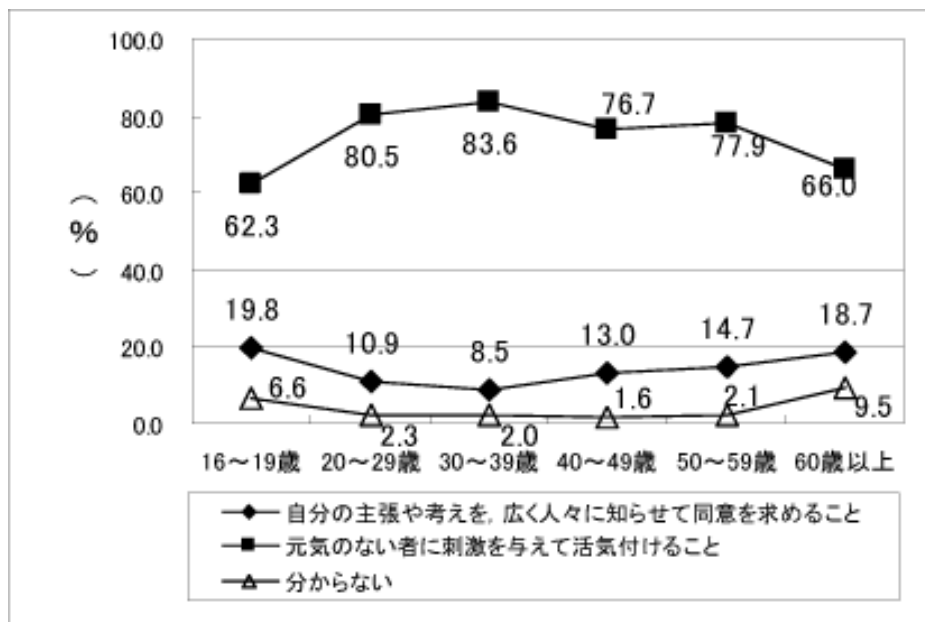
全体の結果を見ると、本来の意味を選んだ人の割合よりも本来の意味とは異なる意味を選んだ人の割合の方が高く、「檄を飛ばす」では74.1%が、「姑息」「憊然」についても約70%が、本来の意味とは異なる意味を選んでいる。

年齢別に見ると、いずれの年代でも本来の意味とは異なる意味を選んだ人の割合が本来の意味を選んだ人の割合よりも高くなっている。

檄を飛ばす

〔全体〕（下線を付したものが本来の意味。以下同じ。）

(ア) <u>自分の主張や考えを、広く人々に</u> <u>知らせて同意を求めること</u>	14.6%
(イ) <u>元気がない者に刺激を与えて</u> <u>活気付けること</u>	74.1%
(ウ) (ア)と(イ)の両方	4.7%
(エ) (ア)や(イ)とは全く別の意味	1.9%
分からない	4.7%

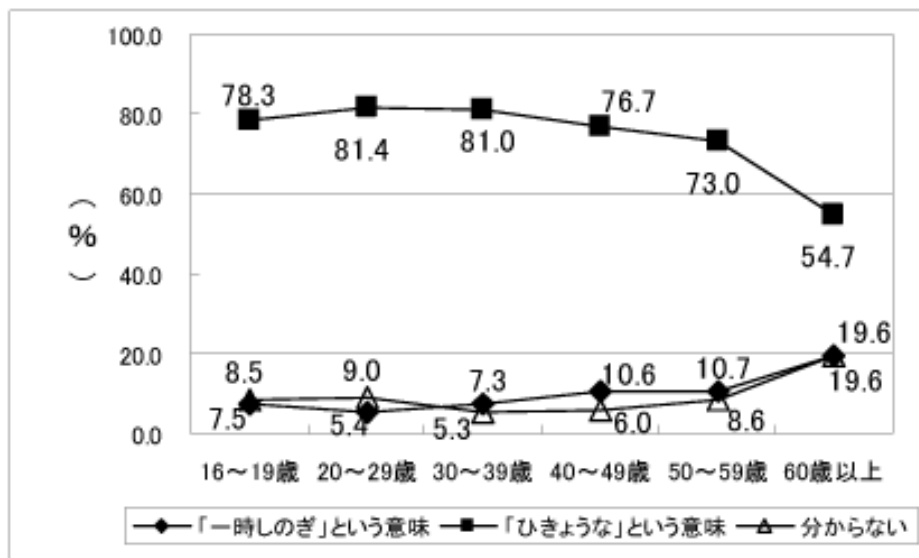


姑息 例文：姑息な手段

〔全体〕

(ア) 「一時しのぎ」という意味	12.5%
(イ) 「ひきょうな」という意味	69.8%
(ウ) (ア)と(イ)の両方	4.7%
(エ) (ア)や(イ)とは全く別の意味	1.7%
分からない	11.4%

〔年齢別〕

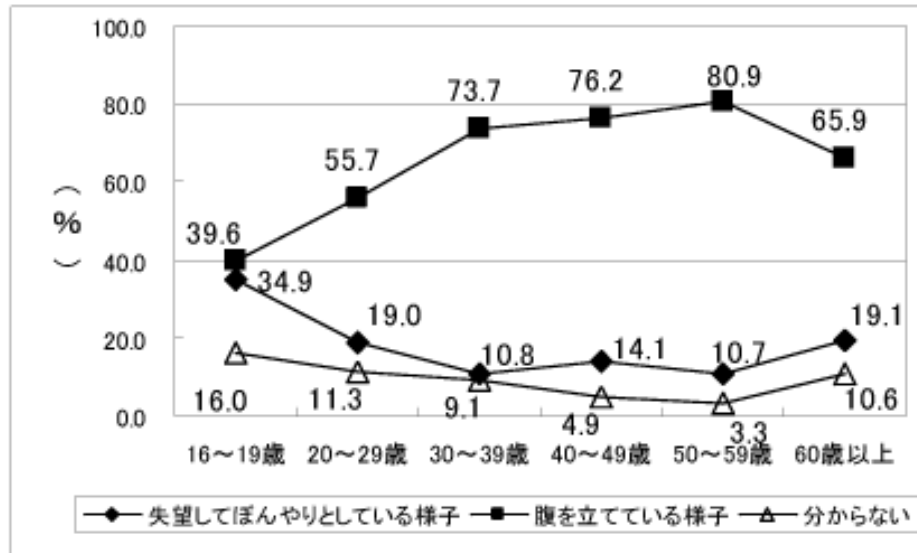


惘然 例文：惘然として立ち去った

〔全体〕

(ア) 失望してぼんやりとしている様子	……	16.1%
(イ) 腹を立てている様子	……	69.4%
(ウ) (ア)と(イ)の両方	……	2.7%
(エ) (ア)や(イ)とは全く別の意味	……	3.4%
分からない	……	8.3%

〔年齢別〕



8 慣用句等の使用

(1) 慣用句等の使用 どのように言うか<問12>(P58)
「押しも押されぬ」「的を得る」は5割以上が使用

三つの意味を示して、その意味で使う言葉をどのように言うかを尋ねた。結果を全体と年齢別とに分けて示すと以下のとおり。(年齢別では、「両方」「分からない」を省略。)

全体を見ると、「実力があって堂々としていること」「物事の肝心な点を確実にとらえること」では、本来の表現とは異なる「押しも押されぬ」「的を得る」を使う人の割合が5割以上となっている。一方、「つっけんどんで相手を顧みる態度が見られないこと」では、本来の表現である「取り付く島がない」を使う人の割合が最も高いが、本来の表現とは異なる「取り付く暇がない」を使う人の割合との差は2.4ポイントとわずかである。

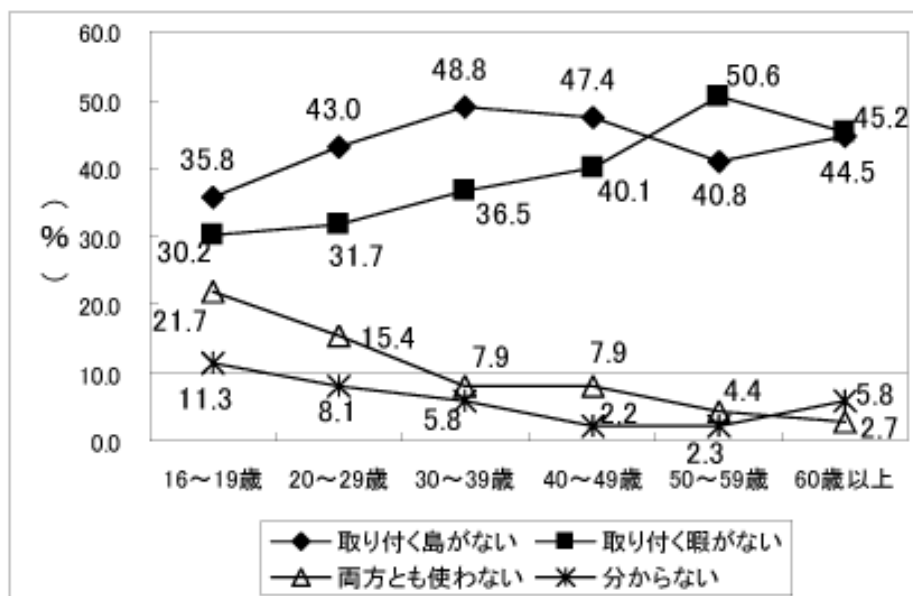
年齢別に見ると、16～19歳では、「両方とも使わない」の割合が、すべての語句で10%以上となっており、ほかの年代と比べてもその割合は高い。また、「分からない」の割合もほかの年代よりも高くなっている。

つっけんどんで相手を顧みる態度が見られないことを

〔全体〕（ 下線を付したものが本来の表現。以下同じ。）

取り付く島(しま)がない	44.4%
取り付く暇(ひま)がない	42.0%
両方	1.7%
両方とも使わない	6.9%
分からない	5.0%

〔年齢別〕

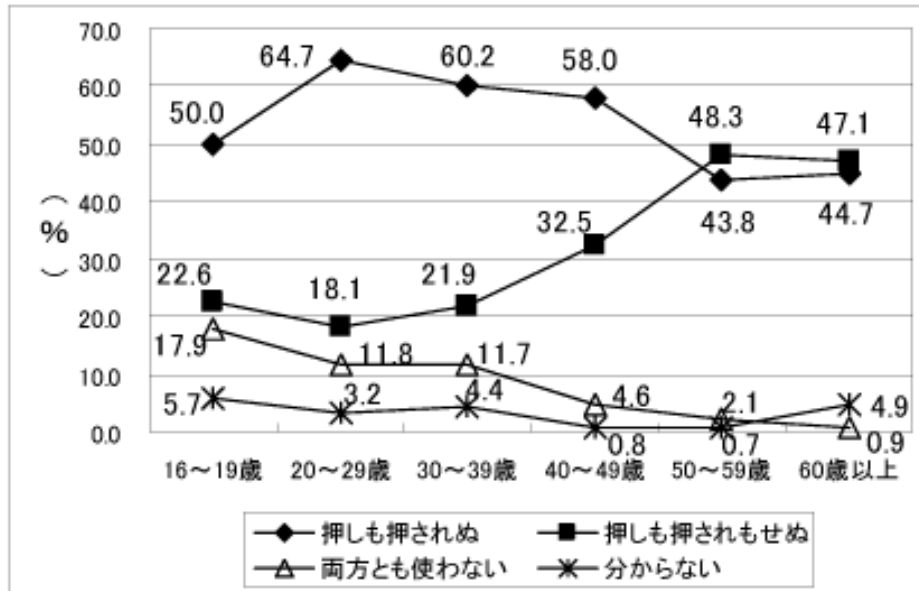


実力があって堂々としていることを

〔全体〕

押しも押されぬ	51.4%
押しも押されもせぬ	36.9%
両方	3.2%
両方とも使わない	5.3%
分からない	3.2%

〔年齢別〕

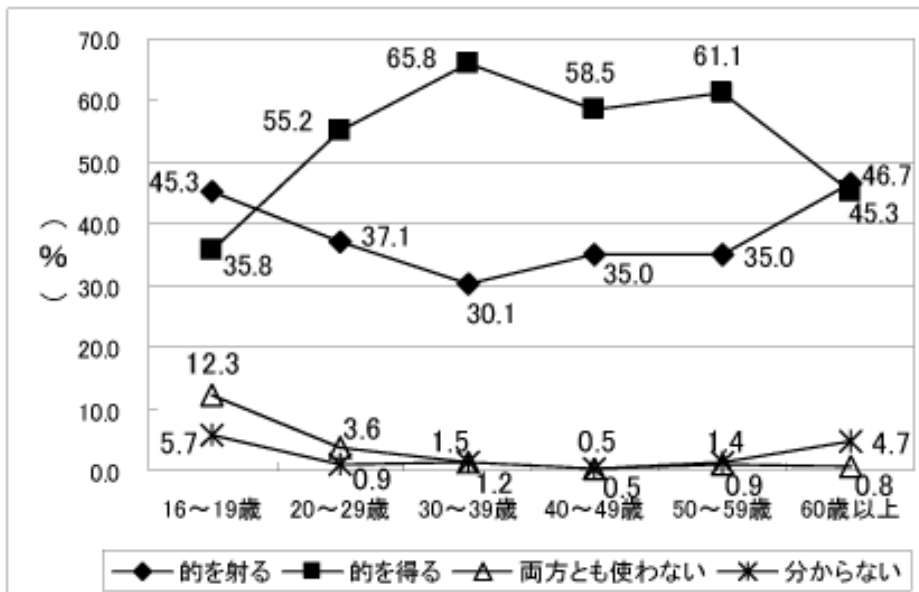


物事の肝心な点を確実にとらえることを

〔全体〕

的を射(い)る	38.8%
的を得(え)る	54.3%
両方	2.6%
両方とも使わない	1.7%
分からない	2.5%

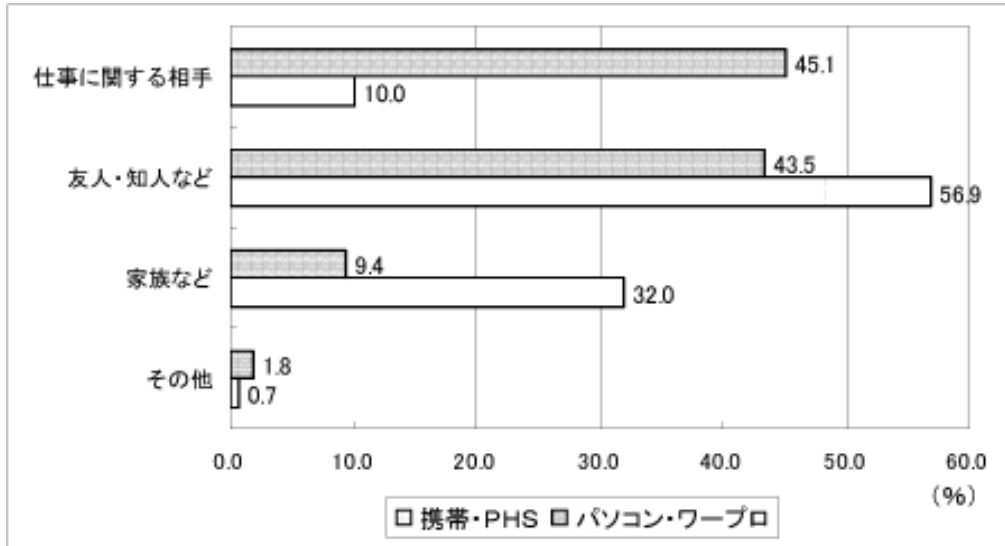
〔年齢別〕



9 電子メールの送信先，電子メールでの表現

(1) 電子メールの送信先<問16付問1-1, 付問1-4>(P73・74)
 「パソコン・ワープロ」では「仕事の相手」, 「携帯電話・PHS」では
 「友人・知人」が1位

パソコン・ワープロで電子メールを利用している人、携帯電話・PHSで電子メールを利用している人に対して、ふだん電子メールを送る相手を尋ねた。結果は以下のとおり。（「分からない」は省略。）

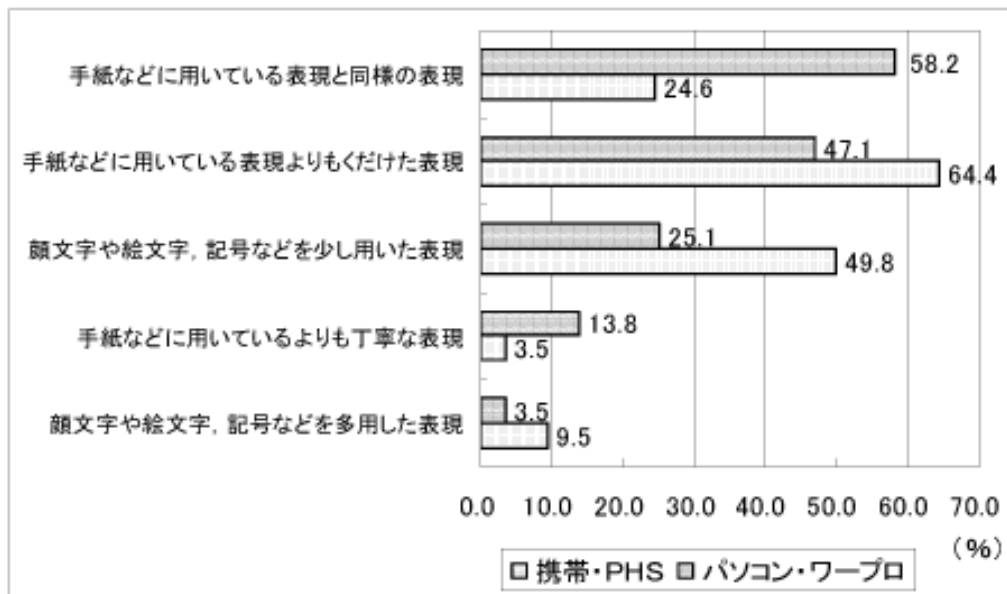


(2) 電子メールでの表現 < 問16付問1 - 3, 付問1 - 6 > (P77・78)

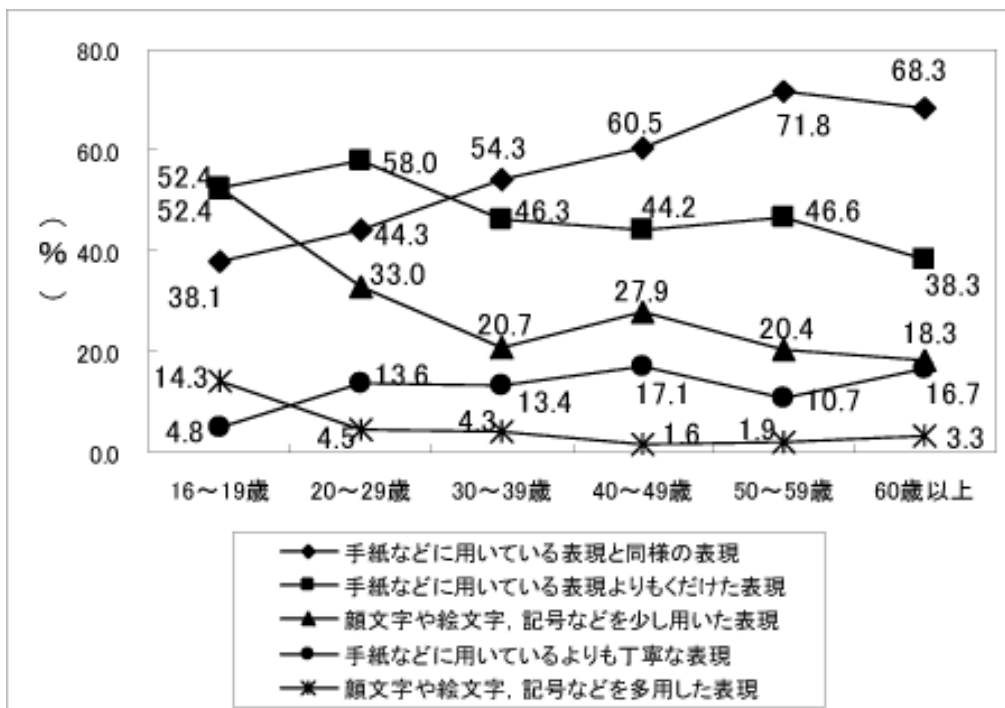
「携帯電話・PHS」では「手紙などよりもくだけた表現」が6割以上、
「顔文字・絵文字・記号を少し用いた表現」も約5割

パソコン・ワープロで電子メールを利用している人、携帯電話・PHSで電子メールを利用している人に対して、電子メールでどのような表現を使っているかを尋ねた。結果を全体と年齢別とに分けて示すと以下のとおり。（「分からない」は省略。）

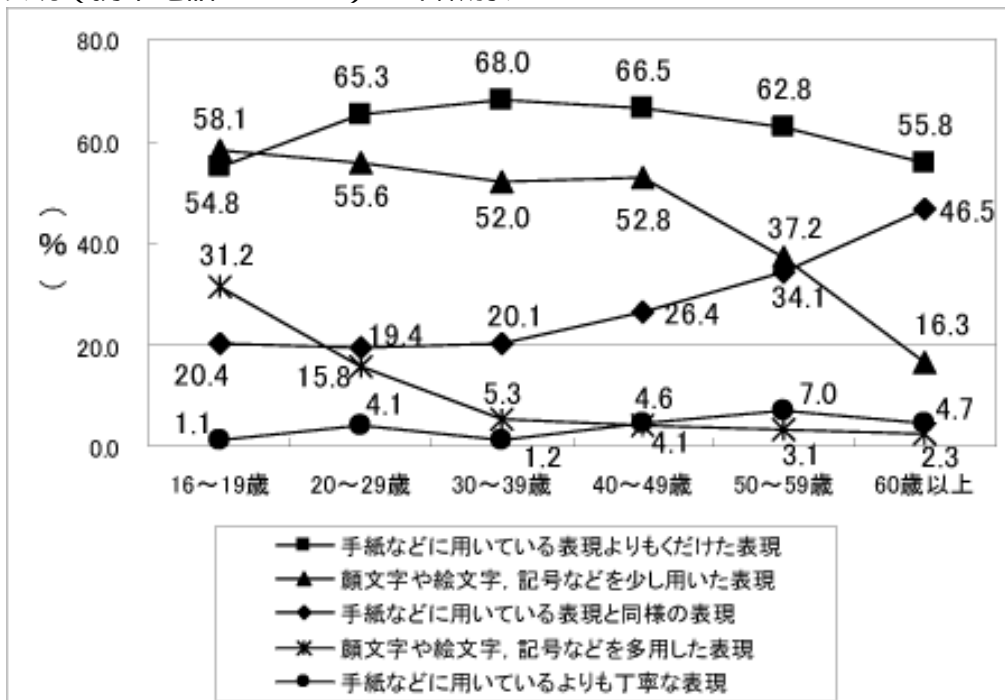
〔全体〕



〔電子メールでの表現（パソコン・ワープロ）・年齢別〕



〔電子メールでの表現（携帯電話・PHS）・年齢別〕



10 情報機器の普及による言葉遣いへの影響

(1) 情報機器の普及による言葉遣いへの影響 <問18> (P83)
言葉遣いへの影響、「あると思う」が約8割

パソコンや携帯電話などの情報機器の普及によって、言葉や言葉遣いが影響を受けると思うかどうかを尋ねた。結果は以下のとおり。

〔全体〕

大きな影響があると思う	……	33.9%	「影響はあると思う(計)」 78.9%
多少影響はあると思う	……	45.0%	
余り影響はないと思う	……	13.8%	「影響はないと思う(計)」 15.5%
全く影響はないと思う	……	1.8%	
分からない	……	5.6%	

小数第2位四捨五入のため、単純合計と一致しない。

結果を年齢別に示すと以下のとおり。「大きな影響があると思う」「多少は影響があると思う」を合わせた「影響はあると思う(計)」が、すべての年代で7割以上となっており、特に30代から50代では8割を超えている。一方、「余り影響はないと思う」「全く影響はないと思う」を合わせた「影響はないと思う(計)」の割合は、16～19歳で27.4%、20代で21.3%と2割を超えており、ほかの年代よりも高い割合となっている。

(数字は%)

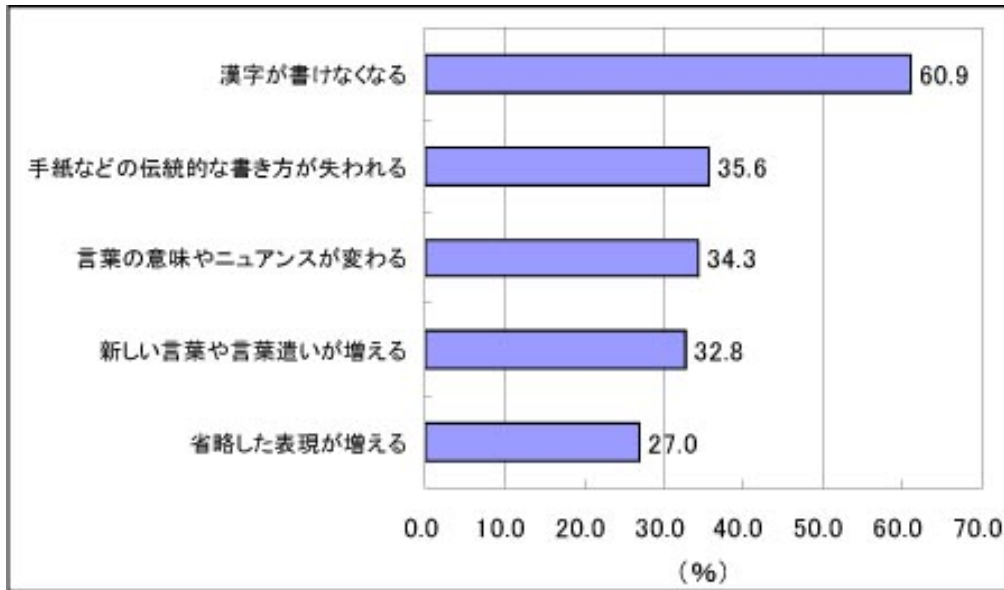
	影響はあると思う(計)		影響はないと思う(計)	
	大きな影響があると思う	多少は影響があると思う	余り影響はないと思う	全く影響はないと思う
16～19歳	71.7		27.4	
	22.6	49.1	21.7	5.7
20～29歳	76.0		21.3	
	24.0	52.0	19.9	1.4
30～39歳	80.1		18.1	
	31.3	48.8	17.0	1.2
40～49歳	87.3		12.2	
	40.9	46.3	11.7	0.5
50～59歳	86.2		12.1	
	39.9	46.4	10.3	1.9
60歳以上	71.7		14.6	
	32.6	39.1	12.4	2.2

小数第2位四捨五入のため、単純合計と一致しない。

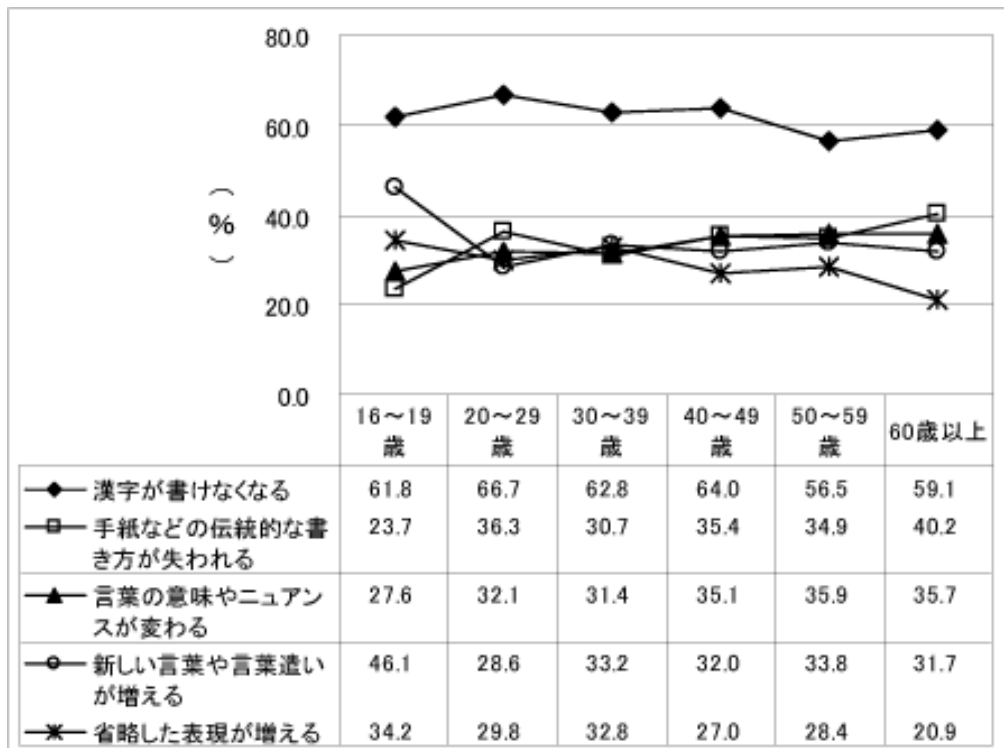
(2) どのような形で影響があるか<問18付問1>(P83)

1位は「漢字が書けなくなる」で、6割

問18で「大きな影響があると思う」「多少影響はあると思う」と答えた人に、どのような形で影響があると思うかを尋ねた。(三つまで選択可。)上位5選択肢の結果は以下のとおり。



上位5選択肢について、年齢別の数値を以下に示した。すべての年代において、「漢字が書けなくなる」が5割以上の割合で1位を占めている。40代以下では、6割を超えている。なお、16～19歳では「新しい言葉や言葉遣いが増える」「省略した表現が増える」の割合が、60歳以上では「手紙などの伝統的な書き方が失われる」の割合がほかの年代に比べて高くなっている。



利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo

▲ トップページへ

▲ ページのトップへ

社会

asahi.com
[トップ](#) > [社会](#) > [その他・話題](#)

自分の敬語に自信ない4割 文化庁の国語世論調査

2005年07月12日22時06分

敬語の間違いが増えていると思う人が8割を超え、自分の使っている敬語に自信のない人が4割に近いことが、文化庁が12日に発表した04年度「国語に関する世論調査」結果でわかった。調査は今年1～2月に16歳以上の3000人を対象に行い、回収率は72.6%だった。

敬語と漢字についての現状と意識を知ることが今回の重点。

敬語で「困っていること」（複数回答可）を尋ねたところ、一番多かったのは「正しい敬語を使っているか自信がない」で、37.1%を占めた。世代別に見ると、男性では30代(53.8%)、女性では20代(59.5%)、40代(50.7%)、30代(49.8%)が多かった。一方、6

社会その他・話題

- 地磁気発生メカニズムを再現 ス
パソコンで2年がかり(07/18)
- エゾシカ肉を首都圏に売り込み 北
海道、食害地に牧場(07/18)
- 水中を舞うカタクチイワシの大群
神奈川・相模湾(07/18)
- ロボカップ世界大会、サッカー人間
型でチーム大阪が連覇(07/18)
- 愛知万博、初の1日20万人突破
入場者の最多更新(07/17)

企画特集

リフォーム特集

サニタリー&バスルーム事例

全国の大学・短大進学情報

大学の最新の取り組みをレポート

資格講座・スクールガイド

司法書士、行政書士の試験対策

時と共に成熟する邸宅街

検索 | 使い方

新聞購読のご案内
 アスパラクラブ(無料会員クラブ)
 有料記事検索のご案内

注目ニュース | Top30

水中舞うカタクチイワシの大群
 松井秀が後半戦初安打
 貴乃花親方に事情説明求める
 京都・祇園祭で山鉾巡行
 銀行員、11年連続で減少

住まい

畳は小さくなってる? 世界のウチ

就職・転職

フリーター呼ぶ、1泊1480円

BOOK

池上冬樹さん評「花まんま」

健康

健康・生活 医療・病気 福祉

愛車

頼れるカメラマンの足

教育

ゆき姐エッセー ちぐはぐな小学生

サイエンス

南極フォト220点発売 花おりおり

0歳以上は男性18.9%、女性26.1%にとどまり、自分の敬語に自信を持っていた。

「正しい敬語の使い方が分からない」を選んだ人は20.1%。20代が最も多く、男性38.2%、女性44.1%だった。

「敬語の使い方間違えて多くなっているか」と尋ねたところ、「そう思う」が43.0%、「少しそう思う」が38.0%、合わせると81.0%に達した。

「どのような間違いが多いと思うか」の設問では、「尊敬語、謙譲語、丁寧語の使い方」が55.2%、「必要な場面なのに使われていない」が51.1%で、「不必要な場面なのに敬語を使う」が35.6%だった。

敬語の在り方として、「簡単に分かりやすく」と考える人は、97年度に41.4%だったのが今回は33.6%に減り、一方で「豊かな表現が大切」が46.9%から53.6%に増えた。

具体的な表現を示し、敬語として正しいと思うかを尋ねると、判断が分かれる例もあった。謙譲語の誤用とされる「ただいま会長が申されたことに」の例では、誤答の「正しく使われている」を選んだ人が97年度に比べて7ポイント減り、正答の「正しく使われていない」が3ポイント増えた。世代別にみる

デジタル

ネット限定、天皇杯でもtoto

トラベル

「バリ島」大人のリゾート

囲碁

アマ十傑戦、18日に大盤解説会

将棋

宮崎アマー歩およばず

社説・コラム

今日の朝刊 社説 天声人語

ショッピング

忘れかけたあの気持ちを机の上に

be

business entertainment Sunday

中国特集

包でモンゴル式披露宴

ドイツ年特集

トップレスで哲学を学ぶ

スター・ウォーズ

展覧会チケットなどプレゼント

と、この例で誤答が一番多かったのは60歳以上で、男女とも6割近かった。「お目にかかって」の例でも60歳以上が最多だった。

文化庁国語課は「日本語ブームが依然続くなか、敬語は大切だとの思いが働き盛りの層では強まっているが、何が正しいかが分からない悩みが表れている。一方、年配の人たちは、自分の敬語は正しいと思っているが、実は間違っているという悲劇的実態を示している」と分析している。

漢字をめぐるのは、「ワープロなどがあっても漢字学習はしっかりとやるべきだ」が56.6%（02年度は37.9%）なのに対し、「漢字を書く必要は少なくなる」は5.7%（同3.4%）。「漢字の使い方について余り自信がない」が41.3%（同22.1%）に対して、「かなり自信がある」は8.2%（同8.9%）だった。

PR情報

関連情報

ベストセラー快読 そんな言い方ないだろう

[著]梶原しげる

ベストセラー快読 美人の日本語 [著]山下景子

話題の本棚 変な日本語、脱出の手引

特集：気になる日本語

社会記事一覧

産経新聞

社説など »

朝刊から

夕刊から

オピニオン »

eアンケート »









地方版 »

関西発 »

本社から »

ウェブ産経

ニュース

 社会 国際 スポーツ 経済 政治 文化芸能 読書 ひと おくやみ

スペシャル

ENAK »

囲碁

将棋

イベント

社会 || Nation

慣用句勘違い 国語世論調査 青田刈り / 汚名挽回 / 天下の宝刀...正しい?

「枯れ木も山のにぎわい」「世間ずれ」などの言葉を3割以上の人が誤った意味にとらえていることが、文化庁が12日公表した「平成16年度国語に関する世論調査」でわかった。

「ただ今会長が申されたことに賛成いたします」「(先生に対して)父にお目にかかっていただけませんか?」といった敬語表現に4割超が「正しい」と回答。慣用句の「青田買い」「汚名返上」を「青田刈り」「汚名挽回(ばんかい)」とする人が上回り、「伝家の宝刀」を「天下の宝刀」とした人も4人に1人に達した。

調査は今年1月から2月、全国の16歳以上の男女3000人を対象に、個別面接形式で実施した。語句の意味を問う設問では「枯れ木も山のにぎわい」を、本来の「つまらないものでもないよりはまし」としたのは38.6%だったが、35.5%が「人が集まればにぎやかになる」と回答。

「世間ずれ」の意味を正しく「世間を渡ってきてずる賢くなっている」としたのは51.4%だが、32.4%が「世の中の考えからずれていること」とした。

 News-Minute

カードローン
モーストリー
住まい
仕事探し
マネー
旅
今日の運勢
ランキング
雑誌・正論
産経新聞の本
産経国際書会
産経エコ
関連サイト
リンク集
サイトマップ
お問い合わせ

ログイン

産経Web-S
eテキスト
@nifty 会員
@niftyID 会員

Broad
NewsStreet

Sankei
ギャザリング

あつたか
クワン

「他山の石」を「他人の誤った言行も自分の行いの参考になる」とした正解者は26.8%で、「他人の良い言行は自分の行いの手本になる」も18.1%を占めた。

正答を上回る

(1) 会社が学生を「青田買い」する(2) 会社が学生を「青田刈り」する - の2例文から正しい言い方を選ばせる問題では、「青田買い」を正しく選んだのは29.1%で、「青田刈り」は34.2%。同様に「汚名返上」(38.3%)も「汚名挽回」が44.1%と誤答が正答を上回った。「伝家の宝刀」も41%が正しく答えたが、「天下の宝刀」を正しいと回答した人も25.4%にのぼった。

敬語表現では八つの例文を示し、正しいかどうかを尋ねた。「木村さんがお話しされたように、この本は役に立ちます」を7割近い人が正しい表現と認識(正しくは『お話しになったように』など)。「(高校生が担任の先生に)明日父がまいります、お目にかかっていただけませんか」を44%が、「会長が申されたことに賛成いたします」も49.3%が正しいと回答し(正しくは『会って』『言われた』など)。「この電車にはご乗車できません」も59.1%が正しいとした(『ご乗車になれません』が正しい)。

やばい = 肯定

若者が多用する言葉のうち、「やばい」という言葉を「とてもすばらしい」「良い」「おいしい」「カッコいい」という肯定的な意味で使うとした人は全体では18.2%で、16-19歳では71.1%を占めた。また、「映画に行かない?」といった誘いに「う~ん微妙」と答えるなど、否定的なニュアンスをにじませながらも「良いか悪いか」の判断を避ける意味で「微妙」を用いる婉曲(えんきょく)表現は、16-19歳で96.3%が使っていた。全体でも57.8%が「使う」としており、年配の人の間にもこうした用法が浸透している。

【2005/07/13 東京朝刊から】

速報一覧

企画特集

【コラム】

東京バイツ

第134回

"国語世論調査"報道に隠されているかもしれない各紙がはっきり書かない真実

福富忠和

2003/6/26

6月19日、20日の新聞やテレビが、ちょっとした記事の穴埋め程度の印象で「国語に関する世論調査」に関するニュースを報道した。これは文化庁が行った昨年と同調査の報告。たとえば各新聞社のWebで検索可能な見出しを挙げてみると、「文化庁国語調査 正しい意味ご存じですか?」(産経新聞)、「『役不足』などの慣用句、6割が逆の意味で理解(毎日新聞)」、「『役不足』『確信犯』、意味理解は2割程度 文化庁調査」(朝日新聞)といったもので、推測はつくと思うが、慣用句などの用法について、多くの人が原意とは違った意味で理解していることを、この調査があきらかにしたことを書いている。

「流れに棹さす」とか「役不足」とか「確信犯」という言葉が間違っ使われているのは、最近TVで頻繁に流れている電子辞書のCMで知っていたのであまり驚かないが、このほかよく使われる英語を元にするカタカナ語の理解なども調べていて、こちらの理解度の高さとおわせて、総じて各記事が暗に指摘するのは、「日本語が乱れている」ということのようなのだ。元の調査のほうでも、同時に「現在使われている言葉は乱れていると思うか」という設問を設け、その結果、80.4%が「非常に」「ある程度」乱れている、と答えたことを報告している。年齢別では、若年層ほど「非常に乱れていると思う」と答えた割合が低い。

なるほどね、言葉は乱れてるみたいだね、などと感じつつ、普通はそんな記事などすぐ忘れてしまうのだが、以前に国立国語研究所の外来語の言い換えについてこのコラムで文句を付けたこともあったので(第112回「納得診療」や「交通便利性」の背後で隠蔽されてきた重要な概念について)、一応気にして、文化庁のWebで元報告を探した。ところが報告書そのものは国立印刷局から市販されるため、現物は掲載されておらず、「平成14年度『国語に関する世論調査』の結果について」という報道資料だけがあった。まあ、この公

開方法の善し悪しを特に問うつもりはない。

気になったのは、毎年継続している調査の中で、今年新たに行われた「読書」に関する項目なのだ。1カ月にどれくらい本を読むか、という問いに、全く読まない37.6%、1～10冊58.1%、11冊～20冊2.6%。1～10冊という区分は随分おおざっぱかな、と思うが、これとて「そんなものだろう」という印象だ。別の設問で「読書する人の数は減っている」が60.6%という結果もあるが、自分じゃあまり本は読まない割に、みんな結構シビアな印象を持っているものだ、と感じるばかり。実はこの報道資料にある読書に関する調査範囲は、この2つと「読書することのよいところ」というものだけで、「言葉の乱れ」「カタカナ語」にくらべてあんまりつまんでいない。新聞、テレビ報道もこの発表をうけて「言葉は乱れてるぜー」というトーンだったわけだ。

しかし新聞記者の中には、きまじめに調査報告の現物まで目を通して、恐るべき内容に気付いた人がいたようだ。これが朝日新聞の「『全く読書しない』3人に1人 文化庁『国語世論調査』」という記事で、前述の「言葉の乱れ」記事が、紙面では1面だったのに対して、こちらは関連記事として第2社会面にある。

「『全く読まない』の割合を地域別にみると、高かったのは四国(59.8%)、東北(48.5%)、九州(47.4%)だった。低かったのは関東(28.6%)と近畿(34.3%)などだ。」「都市の規模が大きい方が、全く読まない人が少ないという傾向も出た。東京都区部(18.3%)、政令指定市(31.1%)に対し、人口10万人未満の小都市は41.8%、町村は48.0%だった。」「年代別では、1冊も読んでいないのは60歳以上の47.3%から40～49歳の26.0%までの幅があった。」(同記事)

どうです。恐るべき事実でしょ。

紙面では、地域別の読書量がグラフ化されていて、この地域間の「読書デバイド」が歴然とわかる。また斎藤孝・明大教授の「地域書店の質、量」を原因視するコメントもある。

もしかしたらみんな「そうじゃないかなー」と思っていたことかもしれないが、「やっぱり公然とニュースにするのはまずいんじゃないの」などという判断もはたらいた結果、心優しき産経新聞や毎日新聞は記事にできなかったような気もしないではないが、報道しなければ報道しないで、王様はいつまでも裸だったり、ロバの耳だったりする可能性もあり、一応評価すべきかも知れない。

で、敢えてこの調査からわかる事実を確認しておく。

・四国の方は、日本でもっとも本を読まない傾向がある。その次が東北、北陸の順。

年齢別で言えば、

- ・ 高齢者ほど本を読まない傾向がある。

ということ。これを「日本語の乱れ」に関する項目とあわせて考えると、

- ・ 本を読まない人ほど、日本語が乱れている、と思っている傾向が高い。

あるいは、

- ・ 日本語が乱れていると思っている人は、そう思っていない人より本を読まない傾向がある。

ということが言えてしまうんじゃないだろうか。

私も今後、四国や北陸などに出かけることもあれば、年配の方との人間関係もあるので、これ以上のコメントは避けておくが(^^)、これ、「言うことがはばかれる真実」という感じがしている。

福富忠和(Tadakazu Fukutomi)

vwyz@jca.apc.org

バックナンバー

<http://pcweb.mycom.co.jp/column/bytes.html>

閉じる

BUSINESS
BLOG BOOK

ブログが拓くビジネスの新たな可能性とは？

Copyright (C) Mainichi Communications Inc. All rights reserved. 掲載記事の無断転載を禁じます

若者言葉
「ビミョー」十代96%使用
文化庁調査 「ヤバイ」は71%に

いいか悪いか判断がつかなかった時に「ビミョー（微妙）」という言葉を使う人が58%に上り、十代では96%を超えることが十二日、文化庁の日本語に関する世論調査で分かった。素晴らしいやすごい、おいしいなどの意味で「ヤバイ」を使う十代も71%に達した。

文化庁は「 ” 微妙 ” は価値判断を避ける若者言葉だが、何とも言い表しようがないという本来の意味と近いため四、五十代でも高い数字となったのではないかと。定着するかは現時点では判断できない」と分析している。

調査は一月から二月にかけ全国の十六歳以上の男女三千人を対象に実施、73%から回答を得た。

「ビミョー」「ヤバイ」のほか、面倒くさいことや不快感を表す「ウザイ」は17%だったが、十代は70%と高かった。

一九九九年度との比較調査では「わたしはそう思う」を「わたし的には」と言う人の割合が7ポイント増え16%。「話とかしていました」と表現をぼかす「とか」を使う人は2ポイント減って15%だった。

慣用句の言い方では「学生を青田買いする」（29%）を「青田刈り」と誤っている人は34%、「汚名返上」（38%）を「汚名挽回（ばんかい）」と誤用している人が44%で、いずれも正しい用法を上回った。

また、「世間を渡ってきてずる賢い」という意味の「世間ずれ」を「世の中の考えから外れている」と誤って理解している人が32%。「つまらないものでもないよりまし」という意味の「枯れ木も山のにぎわい」を「人が集まれば、にぎやかになる」と、理解している人も36%に上った。

言葉の使い方については、10%の人が「非常に気を使っている」と回答。「ある程度気を使っている」を合わせると71%で、九七年度調査を約3ポイント上回った。

今後の敬語の在り方について「簡単でわかりやすいものであるべきだ」が七年前より8ポイント減って34%。「豊かな表現が大切にされるべきだ」は7ポイント増えて54%。特に四十代では「豊かな表現」を選んだ男性が16ポイント増の54%、女性が14ポイント増の64%で、敬語に対する意識が高い傾向がみられた。

(2005.7.13 共同通信)

[子育てのページTOPへ](#)

[日付で選択へ](#)

社説 - バックナンバー

[本日のニュースに戻る](#)

ジャンルで選択

トップニュース

社会

スポーツ

コンサドーレ

ファイターズ

政治

経済

農林水産

IT

話題

札幌圏ニュース

道央

道南

道東

道北・オホーツク

青森からこんにちは

国際

生活

教育

文化・芸能

環境・自然・科学

訃報

English News

社説

卓上四季

知床・世界遺産登録

道新記事データベース

[検索方法](#)・[申し込み](#)

若者語 * 言葉は世につれ、だが (7月14日)

「不都合だ」という意味の「やばい」を「とてもすばらしい」などの肯定的な意味で使う若者が増えている。文化庁の「国語に関する世論調査」では、十代の71%がこうした使い方をしているというから驚かされる。

「やばい」は、もとは盗人などの隠語だった。堀井令以知著「ことばの由来」(岩波新書)によると、官憲の追及にあつて身の危険を感じたときに用いた。江戸時代に犯罪者を収容した厄場(やば)に「い」をつけてできた言葉だ。

若者たちの言葉の揺れは珍しくはないが、この場合は意味が逆になっている。身の危険を感じるのと同じくらいの切迫感で感動した、という用法の逆転があったのだろうか。

このほか、いいか悪いか判断がつかないときに使う「微妙」は十代の96%が使い、不快感や嫌悪感を「うざい」と言う若者は70%に達する。

「微妙」を使う人は中高年を含む全体で58%に上る。相当な広がりを見ていい。新明解国語辞典の最新版は不快感を示す「うざったい」に「うざい」とも言う注釈をつけている。若者言葉を無視できなくなったのだろう。

確かに言葉は時代とともに変化することがある。目下の人に言う「貴様」は、かつては相手を敬う場合に使っていた。「行き届かない」といった意味の「ふつつか」も、昔は「しっかりした」という意味で用いた。

今の若者言葉の中に将来定着するものがあるとすれば、それは人々の批判や反発をくぐりぬけた結果である。言葉を選ぶ「ろ過器」が必要なのだ。

その基準となるのは、深みのある対話を可能にする日本語の多様さ、美しさを保持できるのか、という観点である。その点で、現代の「ろ過器」は選択の網の目が粗いようだ。

テレビのバラエティー番組の乱暴な言葉がそのまま流行する。携帯電話のメールで使う独自の意味を込めた記号のような単語が広く流通する。言葉に対する点検力が弱くなり、不適当な言葉を除外する感覚も足りないというのが現実ではないのか。

家庭や学校で子どもたちに正しく美しい日本語を教え、伝えていく努力を地道に続けるしかない。本に親しむことで、日本語に対する感性を磨く工夫も大切なことだろう。そうした場面での大人の役割への期待も大きい。

文化庁の調査では、中高年者も慣用句の使い方を間違える傾向が出た。会社が学生の就職内定を早めにする「青田買い」を誤って「青田刈り」と答えたり、「汚名返上」を「汚名挽回(ばんかい)」と誤用する人も多かった。

若者に比べて語彙(ごい)が多いがための勘違いかもしれないが、言葉遣いにもっと気を配る姿勢が必要だ。

言葉の揺れが日本語の世界を狭めて貧しくする事態だけは避けたい。

[花火大会特集](#)


[海水浴特集](#)

[映画情報](#)

携帯サイト

QRコード

「日刊九州コム」

 [URLをケータイに送る](#)



[日刊スポーツ九州トップ](#) > [社会トップ](#) > 『やばい』使う10代71% / 国語世論調査

【おすすめ】 [【低金利でお悩みの方へ】元本保証で金利年1.1%の円定期](#)

05年7月13日

『やばい』使う10代71% / 国語世論調査

とても素晴らしい、という意味の「やばい」が広く浸透している - 。文化庁は12日、1～2月に実施した「国語に関する世論調査」の結果を公表した。とても素晴らしい、すごい、おいしいなどの意味で「やばい」を使っている10代は71%に達し、20代でも半数以上が使っていることが判明した。専門家は「社会が寛容になった」と指摘するが、ちょっと「やばい」んじゃないの？

調査は全国16歳以上の男女3000人を対象に実施。72.6%（2179人）から回答を得た。

良い、おいしい、カッコいいなどを含む「とても素晴らしい」という意味で、「やばい」という言い方をすることが「ある」と答えた人の割合は18.2%だったが、10代男性では75.6%、同女性でも65.8%に達した。

テレビドラマ「タイガー&ドラゴン」では落語家に扮（ふん）した長瀬智也も「前は新しいことを『ナウイ』と言いましたが、最近は『ヤバイ』とか『キテル』なんて言います」と話していた。東京・渋谷の繁華街にいた神奈川県私立高校2年の女子生徒（16）は「このケーキ、やばい！とか言う」。「格好いい男の人がいたら」（高3女子）「映画で感動したとき」（専門学校女子）も「やばい」は使われる。

20代でも男性51.7%、女性の53.2%も「やばい」を使い、「超」「めっちゃ」など

に代わって「この服、やばいかわいい」と、強調の副詞として使用するケースも目立っている。加藤主税・相山女学園大教授（言語学）は「はまりこむ危険があるほどいい、という意味で『やばい』が使われ出した。若者言葉が広がる背景には、社会が寛容になり、年配者まで使う傾向が出ていることがある」と指摘した。

このほか、いいか悪いか判断がつかなかったときに「びみょう（微妙）」という言葉を使う人は58%、10代では96%を超える。面倒くさいことや不快感、嫌悪感を表す「うざい」は17%だが、10～20代では半数を上回った。

「週刊文春」で「お言葉ですが...」を連載中の高島俊男さんは「知らない言葉が使い始められるのは、いつの時代にもある。そうやって言葉はどんどん変わってきた。しかし、そんな意味の『やばい』は初めて聞いた。こういう言葉は一般的になる場合と、すたれる場合があるが、今回の『やばい』は何でそういう意味で使われるのか、めちゃくちゃで、定着しない感じを受ける」と話している。

紙面から

[社会バックナンバー](#)

『やばい』使う10代71% / 国語世論調査

最新ニュース

[大雨で携帯が一部不通 / 熊本](#) (7月12日 16:09)

[捜索中にパーティー出席 / 大分](#) (7月12日 11:41)

[県施設館長に無罪の前町長 / 福岡](#) (7月12日 11:09)

[九州の観光地、予約低調 万博に旅行客流出](#) (7月12日 11:01)

[行方不明者の捜索再開 / 大分](#) (7月11日 10:39)

[携帯でも日刊スポーツ！ソフトバンクをはじめ、九州のスポーツ情報が満載！](#)

[定期購読のお申込](#)

[スポーツ情報だけでなく、社会、芸能、レジャー情報も満載！](#)

[ページのトップへ](#)

トピックス

[ハリポタ新作、米記録更新](#)

[ウッズが2度目V！全英オープンゴルフ](#)

[井口が6号ソロ 水軍完封勝ち](#)

[千代大海休場 最多8度目のかど番へ](#)

[高校野球18日の組み合わせ](#)

- 愛・地球博
 - 万博ニュース
 - 動画レポート
 - <グルメ特集>
- 総合ニュース
 - 政治 | 経済 | 国際
 - 社会 | 運動 | 訃報
- 地域ニュース
 - 愛知 | 岐阜 | 三重
 - 滋賀 | 長野 | 福井
 - 静岡 | 石川 | 富山
 - 東海北陸経済
- ニュース特集
 - ロンドン同時テロ
 - 中部国際空港
 - 日朝問題
 - イラク情勢
 - 逐条点検
- 日本国憲法
 - 人が減る!
 - 60年目の自由
 - NEW商品
 - 健康
- ハートナビ
 - なごやデパート情報
- 特集ライブラリー
 - 東海エリア
 - 地震情報
 - 天災/人災

● 専門学校ガイド
ジャンルで選ぶいい専門学校

- 特選コラム
- 社説
 - 中日春秋
 - 夕歩道
 - 編集局デスク
 - 経済人ナウ(口遊録)
 - 世界の街から

- 政治ホットライン
- 中日懇話会

- きょうの運勢

● 教育に新聞をNIE

- こどもタイムズ
- 中日産業技術賞
- 中日教育賞
- 科学
- 特集
- 土曜訪問
- 文学館への招待
- ハローペット

社会 ● カテゴリー一覧

正しい日本語、微妙なズレ

文化庁調査、中高年の誤用めだつ

いいか、悪いかの判断がつかなかった時に「微妙(びみょう)」という言葉を使う人は58%に上り、10代では96%を超えることが12日、文化庁の国語に関する世論調査で分かった。一方で、「青田買い」「汚名返上」の用法を「青田刈り」「汚名挽回(ばんかい)」と使う人が多く、年齢が高い世代で誤用が目立った。「中高年イコール正しい日本語を話す」の図式は必ずしも当てはまらず、世代を超えて日本語の使い方が変化していることをうかがわせた。

調査は今年1月から2月にかけて、全国の16歳以上の男女3000人を対象に実施、2200人から回答を得た。

「おいしい、かっこいい」など肯定的な意味で「やばい」を使う人は10代で71%、50代でも10%。面倒くさいことや不快感を表す「うざい」は17%が使い、10代では70%と高かった。

1999年度との比較調査では「わたしはそう思う」を「わたし的には」と言う人の割合が7ポイント増え16%。「話とかしていました」と、表現をあいまいにする「とか」を使う人は2ポイント減って15%だった。

一方、慣用語の使い方では、卒業予定の学生を企業が早めに採用内定することを指す「青田買い」について、「青田刈り」と使う人は34%で、本来の言い方の29%を上回った。名誉挽回と似た意味の「汚名返上」を使う人は38%で、誤用の「汚名挽回」を使う人の方が、44%と上回った。

20代以下では「青田買い」「汚名返上」を使う割合が高く、それ以上の年代で本来とは異なる言い方が増えていた。

文化庁国語課は「びみょうは価値判断を避ける若者言葉だが、本来の意味と近いため4、50代でも高い数字となったのではないかと分析する一方、「青田刈り」については「辞書にも載っており、ただちに間違いとは言いにくいだが、汚名挽回は名誉挽回との混用。学校で覚えた当初は間違いが少ないが、年が経つにつれ、混用が進むのではないかと推測している。

● 当日記事一覧

ご質問・お問い合わせ - 著作権 - 個人情報 - リンク
Copyright (C) 1995-2005, The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.
本ページ内に掲載の記事・写真などの一切の無断転載を禁じます